

介護保険認定調査票

特記事項記載文例集

経験の浅い調査員でも、簡潔・明瞭な特記事項が記載できるよう作成しました。

文例を参考に、審査会委員等に伝わりやすいよう、調査対象者の個別の状況を追記してください。

調査票を作成する上で、不明な点や迷うことなどがありましたら、下記へお気軽にお問い合わせください。

相模原市 介護保険課 H30年8月作成

問い合わせ先 042-769-8342

(認定班 調査員指導担当あてにご連絡ください。)

項目	チェック	特記事項文例 *【 】内は状況で選択又は、個別の状況を記載してください。
1-1 麻痺	上肢「あり」	【右・左】上肢は、【横・前】に *肩の高さまで【挙上・保持】できない。 *仰臥位で確認した場合 前方頭上に【挙上・保持】できない。
	下肢「あり」	【右・左】下肢は、【床と水平の高さ・（1-2膝に伸展制限がある場合）膝の可動域最大】まで【挙上・保持】できない。
1-2 拘縮	肩「あり」	【右・左】肩は、【前・横】に *肩の高さまであげられない。 *仰臥位で確認した場合 【左右の肩を結んだ高さまで・前方】にあげられない。
	股「あり」	屈曲 【右・左】股関節は、90度に屈曲できない。 外転 両側をあわせても25cm外転できない。 *片方の股関節を開けなくても、もう一方で25cm確保できれば、☑なし
	膝「あり」	【右・左】膝は、【90度に屈曲・まっすぐ伸展】できない。
1-3 寝返り	つかまれば可	【ベッド柵・布団の端 等】につかまり、できる。 【布団・ベッド面 等】に【手・肘 等】に加重して、できる。
	できない	何かにつかまってもできない。介助者が定時で体位交換している。 円背で仰向けになれず、一度起き上がって寝返りをする。側臥位からうつ伏せにもなれない。
1-4 起き上がり	つかまれば可	【ベッド柵・周りの家具 等】につかまり、できる。 【布団・ベッド面 等】に【手・肘 等】に加重して、できる。
	できない	ギャジアップ機能を使用しないとできない。 つかまってもできないので介助者が起こす。
1-5 座位保持	自分で支えれば可	【テーブル・柵・座面 等】に手をつき支えればできる。
	支え必要	【車椅子の背もたれ・ 度ギャジアップしたベッド 等】にもたれればできる。
	できない	背もたれがあっても10分はできず、途中で臥床する。 おおむね1か月間、水平な体位しかとっていない。
1-6 立位保持	支え必要	【壁・手すり 等】につかまってできる。
	できない	つかまっても、10秒は介助者が支えないとできない。 寝たきりで、どのような状況でもできない。
1-7 歩行	つかまれば可	【杖・歩行器 等】につかまりできる。 介助者が【脇を支えて・手引きし 等】できる。
	できない	途中で休み、5m継続しては歩けない。 リハビリでのみ5m歩くが、日常では歩行しておらずできない。 つかまったり、支えても歩行は不可能で車椅子を使用している。
	つかまれば可	【ベッド柵・手すり 等】につかまりできる。
1-8 立ち上がり	つかまれば可	【ベッド柵・手すり 等】につかまりできる。
	できない	介助者が引き上げないとできない。 寝たきりで、いかなる状況でもできない。

項目	チェック	特記事項文例 *【 】内は状況で選択又は、個別の状況を記載してください。
1-9 片足立位	支え必要	【ベッド柵・手すり 等】につかまりできる。
	できない	つかまってもできず、日頃から片足を上げる動作時は、介護者が支えている。 寝たきりで、いかなる状況でもできない。
1-10 洗身	一部介助	認知症で洗い方が分からないので、介助者が浴室内で声かけ、指示している。 陰部等手の届くところは本人が洗う。背中や足先は手が届かず洗えないので、介助者が洗う。
		適切介助：介助なく洗っているが、腕があがらず背中では洗えていない。 背部の洗身は介助が適切。
	全介助	本人が手の届く前の部分は洗うが不十分なため、介助者が全て洗いなおしている。 本人は洗い方がわからず、介助者が全身を洗う。
		適切介助：介助には拒否があり一人で行っているが、洗身できておらず身体に汚れ、臭いもあり不適切。指示しても本人はできないと思われ、全介助で行うのが適切。
行っていない	洗身は行っておらず、介助者が清拭している。	
1-11 爪切り	一部介助	手は自分で切るが、足は手が届かないので、介助者が切る。 適切介助：自分で行っているが、【足先は手が届かず・麻痺側は爪切が使えず 等】【切れない・深爪になってしまう 等】ので【足・手・切れてない部分 等】の介助が適切。
	全介助	手足とも介助者が切る。
1-12 視力	普通	【裸眼で・ を使用し】新聞、雑誌等の小文字が見える。
	1 mで見える	小文字は見えないが、1 m離れた視力表の図が見える。
	目の前が見える	目の前の視力表の図が見える。
	ほとんど見えない	目の前の視力表の図も見えない。（明暗程度しかわからない等）
判断不能	【意識障害・重度の認知症 等】で質問に反応がなく、見えているのか判断できない。	
1-13 聴力	やっと聞こえる	普通の声だと聞き間違える。大きめの声で聞こえる。
	大声聞こえる	耳元で大声で聞こえる。
	ほとんど聞こえない	大声でも聞こえないため筆談をしている。
	判断不能	【意識障害・重度の認知症 等】で声かけに反応がなく、聞こえているのか判断できない。

項目	チェック	特記事項文例 *【 】内は状況で選択又は、個別の状況を記載してください。	
2-1 移乗	移乗あり	介助されていない	【まわりにつかまり、ゆっくりと 等】介助なく行う。
		見守り等	【下肢筋力低下あり、ふらついて転倒しやすい・認知症のため、位置が十分理解できず、転倒しそうになる 等】ため、常に介助者がすぐ手を出せる位置で見守る。
			適切介助：介護者不在のため、介助なく行っているが、【この1週間で 回、ふらついて転倒した 等】ため、常に介護者がすぐ手を出せる位置での見守る介助が適切。
		一部介助	【車椅子 ベッド・ポータブルトイレ 等】への移乗は、介助者が本人の【腰・体幹 等】を支えて行っている。 適切介助：介助者不在のため、介助なく行っているが、【下肢の筋力低下しており、この1週間で転倒が 回はあった。デイサービスでは、職員がズボンの後ろをつかんで引き上げ、腰を支えて移乗しており、同様の】介助が適切。
		全介助	介助者が抱えて移乗を行う。
	入院中で寝たきり状態のため、シーツ交換や体位交換時、介護者2人で臀部を動かし、移乗を行っている。		
	移乗は発生していない	介助されていない	移乗は発生していない。想定すると、1群の身体機能の状況から、【介助は必要ない・つかまって自分でできる 等】と判断した。
		見守り等	移乗は発生していない。想定すると、【下肢筋力の低下により・片麻痺があり、この1週間で 回、ふらついて転倒したため 等】、常に介助者がすぐ手を出せる位置で見守る介助が適切。
			移乗は発生していない。想定すると、【認知機能の低下により、手引き歩行をしており等】、常に介助者がすぐに手を出せる位置で指示し、見守る介助が適切。
		一部介助	移乗は発生していない。想定すると、【下肢筋力低下のため・片麻痺があり・認知機能の低下あり 等】、つかまって自分ではできず、臀部の横移動には腰を支える介助が適切。 移乗は発生していない。頻度は少ないが、【デイサービス・ショートステイ・通院時】は、【下肢筋力低下のため・認知機能の低下のため 等】、腰を支える介助を行っているため、同様な介助が適切。
2-2 移動	介助されていない	【まわりにつかまり、ゆっくり 等】介助なく行う。	
		車椅子を自走し、介助なく移動する。	
	見守り等	【麻痺があり、歩行が不安定なため 等】介助者が付き添っている。	
		認知症で目的地がわからないため、介助者が声かけし誘導している。 適切介助：【独居 等】のため介助なく移動しているが、【歩行が不安定で、壁にぶつかっている 等】。すぐ手が出せる位置での見守りが適切。	
	一部介助	【麻痺があり、歩行が不安定なため 等】、介助者が【腰を支えて・手を引いて 等】移動している。 車椅子を自走するが、【曲がり角や狭い所、段差 等】は介助者が押す。	
		適切介助：【独居 等】のため介助なく移動しているが、【歩行が不安定でこの一週間で回転倒している。・移動に時間がかかり毎回トイレに間に合わない 等】身体を支える介助が適切。	
全介助	【車椅子・ストレッチャー 等】を介護者が押す。		
2-3 えん下	見守り等	飲み込みが円滑ではない。	
	できない	飲み込みができず、【経管栄養・胃ろう 等】で栄養摂取している。	

2-4 食事摂取	見守り等	【目の前の物しか食べないので・目が見えないので 等】、介護者が【皿の置き換え・声かけ】をしている。
	一部介助	食卓で、おかずを細かくする介助をしている。
		自分で食べるが、【途中で手が止まるので 等】、【半分くらいは・最後の数口 等】は介助者が口に入れる介助をする。
		【目の前のものしか食べないので 等】、介助者が少しずつおかずをご飯に乗せる介助をする。
	全介助	スプーンでうまくすくえないので、介助者がスプーンに食べ物を乗せる介助をする。
		介助者が全て食べさせている。 経管栄養を介助者が行う。

排尿・排便は以下を記載

布下着、紙パンツ、パット、オムツ等、何を使っているか
 トイレ、ポータブルトイレ、尿器、カテーテル等、どの様に排泄するか
 日中・夜間それぞれの について（適宜、頻度も記載）
 失禁の頻度
 下衣の上げ下げ・陰部、肛門清拭・水洗・失禁時の交換等のどこを介助しているか

項目	チェック	特記事項文例 *【 】内は状況で選択又は、個別の状況を記載してください。
2-5 排尿排便 2-6	介助されていない	【布下着にパット 等】を使用。昼夜ともトイレで一連の行為を介助なく行う。【週 回数、尿漏れがあるが、パット交換も自分で行う。 等】
	見守り等	尿は1日 回、便は 日に1回、トイレで排泄。【尿意があいまいなので、定時誘導される。・排泄の動作が分からないので、介助者が指示をしている。】
		紙パンツとパットでトイレ使用。尿は1日 回で、ほぼ毎回尿漏れがあるが、自分からはパット交換をしないので、介助者が濡れの確認と、パット交換の声かけをしている。
		適切介助：パット使用しトイレで排泄。【独居 等】のため、介助なく排泄し、パット交換も行うが、尿意・便意があいまいで失禁が多い。定時誘導する「見守り」が適切。
		適切介助：【独居 等】のため1日 回、トイレで一人で行うが、【下衣の引き上げが不十分・肛門の清拭が不十分で下着に便が付着している・水洗を忘れる 等】事が多い。声をかければ自分で行う事はできるので「見守り」が適切。
	一部介助	尿：日中はリハパンとパットで尿は1日 回、トイレ使用。【下衣の上げ下げ・陰部の清拭・水洗・失禁が多く1日 回パット交換】を介助者がする。 便： 日に1回トイレ使用。【下衣の上げ下げ・陰部の清拭・水洗・失禁がする事が多くパット交換】を介助者がする。
		適切介助：【独居 等】のため一人でトイレに行くが、【下衣が上がりきっていない・下衣を下げるのに時間がかかり失禁する・失禁が多いがパットを交換しない・肛門の清拭を本人がするが不十分で、下着に便が付着している・水洗を忘れる 等】事が多い。 【手の力がなく 等】本人が行うのは困難なため、【下衣を上げる・下げる・パット交換・水洗・拭きなおし 等】の介助が適切。
	全介助	介助者が定時でオムツ交換をする。
		リハパンとパットを使用しトイレに行くが、一連の行為は介助者がする。
		バルーンカテーテルで、尿の廃棄は家族、カテーテル交換は看護師が行う。
ストマで、便の廃棄や交換は家族、訪問看護師が行う。		

2-7 口腔清潔	一部介助	自歯で、介助者が物品を準備し、自分で磨く。
		認知症で行為がわからず自分では行えないので、介助者が指示しながら行う。
		本人が磨くが、磨き残しを介助者が磨く。
		義歯の着脱は本人がし、洗浄は介助者がする。
全介助	歯はなく、義歯も使用しておらず、介助者が口腔内をガーゼで拭く。	
	物品を準備し渡すと本人が歯を磨くが、磨けていないので、介助者が全面磨きなおす。介助者が水を口に含ませ、本人は吐き出すのみ。	

項目	チェック	特記事項文例 *【 】内は状況で選択又は、個別の状況を記載してください。
2-8 洗顔	一部介助	介助者が蒸しタオルを準備し、本人が拭く。
		認知症で行為がわからず自分では行えないので、介助者が指示しながら行う。
		介助者が横について、タオルを渡している。
	全介助	介助者が蒸しタオルで拭く。 毎朝自分では行っておらず、入浴時に介助者が洗う。
2-9 整髪	一部介助	介助者がブラシを渡し、自分でとがす。
		本人が手元にあるブラシでとがすが、後ろは手が届かないので、介助者がとがす。
	全介助	介助者がとがす。 本人が手元にあるブラシでとがすが、きれいにできないので、介助者が全面的にとがしなおす。 代替評価：本人は髪が少ないので整髪はしない。入浴後、介助者が頭を拭く。
2-10 上衣の着脱	見守り等	認知症で着方がわからないので、介助者が付き添って指示しながら着替える。 自分で着脱しているが、【ボタンの掛け違い、衣服がめくれており 等】介助者が指示をして着なおしている。
2-11 スボン、パンツの着脱	一部介助	介助者が服を構えると、本人が【手・足】を入れる協力動作をする。 介助者が袖・裾を通す部分を介助し、他は本人が行う。
		自分で着脱するが、きれいに着れていないので、介助者が【上着をひっぱる、上着をズボンに入れる、ズボンを引き上げる 等】整えている。
	全介助	本人は協力動作が行えず、介助者が着脱している。
2-12 外出頻度		1か月間の外出の内容【買い物・通院 等】と方法【家族等付き添い 等】、回数を記載

項目	チェック	特記事項文例	個別の状況を追記してください。
3-1 意思の伝達	できる	認知症であるため、伝達内容の合理性はない事が多いが、常時、誰にでも伝えられる。 自発語はほとんどないが、問いかけをすると伝えられる。	
	ときどきできる	内容や状況により、伝えられる時と伝えられない時がある。	
	ほとんど不可	通常は伝えられないが、ある事柄や特定の人に対して、まれに伝えられる時がある。 認知症で「痛い」「お腹が減った」等、限定された内容のみ伝達できる。	
	できない	重度の認知症（又は意識障害等）により、【全く伝えられない。・伝達できるか判断できない。】	
3-2 日課の理解	できる	調査時、日頃ともに起床、就寝、食事時間等のおおまかな日課を理解している。 調査時回答できないが、日頃はおおまかな日課を理解していると立会い者から聞き取る。	
	できない	日課を理解できておらず、介助者の促しで生活している。 調査時は回答できたが、日頃は理解できていないことが多いと立会い者から聞き取る。	
3-3 生年月日をいう	できる	生年月日（数日の誤差）は正答、年齢は オと2歳までの誤差で「できる」を選択。 生年月日（数日の誤差）は正答、年齢は オ（差が2歳より大きい）と誤答。	
	できない	生年月日は【生年しか言えない・日にちが大きく違っている 等】、年齢も オ（差が2歳より大きい）と誤答。 【「分からない」と回答する。・まったく回答できなかった。】	
3-4 短期記憶	できる	調査直前の行動を回答できなかったが、日頃は覚えていると立会い者から聞き取る。 調査直前の行動を回答できた。立会い者がいない為、3点テストを行い、残りの1点を回答できた。	
	できない	調査直前の行動を回答できなかった。日頃も直前のことを忘れると立会い者から聞き取る。	
		調査直前の行動は回答できたが、日頃は直前のことを忘れることが多いと立会い者から聞き取る。	
		調査直前の行動は回答するが、立会い者がなく、正誤の確認ができない。3点テストでは残りの1点を回答できない。 【「分からない」と回答する。・まったく回答できなかった。】	
3-5 自分の名前をいう	できる	【旧姓・姓のみ・名前のみ】の回答であった。 【失語症 等】で、【筆談で回答できた。・呼名にうなずきがあり「できる」と判断した。】	
	できない	【「分からない」と回答する。・まったく回答できなかった。】	
3-6 季節の理解	できる	調査時、回答できなかったが、日頃は理解できていると立会い者から聞き取る。 (違う季節)と回答した。日頃も季節の理解はできないと立会い者から聞き取る。	
	できない	調査時は回答できたが、日頃は理解できていないと立会い者から聞き取る。	
		【「分からない」と回答する。・まったく回答できなかった。】	

項目	チェック	特記事項文例 個別の状況を追記してください。
3-7 場所の理解	できる	調査時、回答できなかったが、日頃は理解していると立会い者から聞き取る。
	できない	(違う場所)と回答した。日頃も理解していないと立会い者から聞き取る。
		調査時は と正しく回答できたが、日頃は分かっていないことが多い。
		【「分からない」と回答する。・まったく回答できなかった。】
3-8 徘徊	ない	か月前には【夕方になると廊下を歩き回る・ベッドで這い回る 等】事があったが、【服薬をはじめ 等】この1ヶ月ではない。 (時期)の入院中は【廊下に出てきてうろうろする 等】があったが、自宅に退院後は見られていない。
	ときどきある	目的もなく【家の中をうろうろ歩き回る、車椅子で動き回る、床やベッドの上で這い回る 等】ことが、この1か月に1～3回あった。
	ある	目的もなく【家の中をうろうろ歩き回る、車椅子で動き回る、床やベッドの上で這い回る 等】ことが、この1か月では週 回あった。
3-9 外出して戻れない	ない	【入院中に自分の病室から出て戻れないことがあったが、自宅に退院後は 等】そのような事はない。 か月前には【散歩に行き帰る・帰宅できなくなり近所の人に連れて来てもらった 等】事があったが、この1ヶ月ではない。
	ときどきある	【買い物に行き・自室から出て 等】一人で戻れなくなり【家族が探して連れ戻した・職員が自室に連れ戻す・警察に保護された】ことが、この1か月に1～3回あった。
	ある	【買い物に行き・自室から出て 等】一人で戻れなくなり【家族が探して連れ戻した・職員が自室に連れ戻す・警察に保護された】ことが、この1か月では週 回あった。

項目	チェック	特記事項文例	個別の状況を追記してください。
5-1 薬の内服	介助されていない	介助なく自己管理している。時々飲み忘れがあるが、不適切とまでは言えない。	
	一部介助	【薬の分包・薬の用意・飲む量の指示、水の準備 等】を介助者がしている。	
		適切介助：【独居の為 等】介助されていないが（週・日 回）飲み忘れがある。物忘れが見られており、【服薬の指示・薬と水を手渡す 等】介助が適切。	
		想定：内服がなく、薬剤が処方された場合を想定すると、物忘れがあり、服薬の指示が必要と判断。	
	全介助	介助者が【薬を口に入れている・食事に混ぜて飲ませている 等】	
		介助者が経管栄養（胃ろう含）のチューブから内服薬を注入している。	
想定：点滴で薬剤を入れており、内服がないので想定すると、口に入れる必要がある。			
5-2 金銭の管理	介助されていない	【歩行困難な為 等】、銀行での出入金は家族に依頼しているが、管理は全て本人が行っている。	
	一部介助	全体の金銭は家族が管理し、小遣い程度の小額のみ自己管理している。	
		金銭は本人が管理しているが、介助者が【通帳の残高を・支払い時には 等】確認している。	
	全介助	金銭の管理は介助者が行い、本人は金銭を【扱うことはない・持っていない】	
		介助者が管理している。本人は小銭程度を持っているが、【収支を把握していない。・使う機会はない。】	
	5-3 日常の意思決定	特別な場合を除いてできる	日常の慣れた事は自己決定できるが、ケアプランの作成、治療方針等には介助者の支援を要する。
日常的に困難		日常の慣れた事でも、ほとんど意思決定できないが、【見たいテレビ番組、献立、着る服の選択 等】を決定することがある。	
		【食べる物や飲み物に関して 等】、二者選択程度はできる。	
できない		【意思決定が全くできない。・意思決定ができるかどうかわからない。】	
5-4 集団参加ができない	ない	【意識障害・寝たきり 等】で集団活動の機会がない。	
	ときどきある	施設内のレク活動中、【大声で騒ぐ・勝手にその場を離れてしまう 等】ため、個別対応することが、この1か月に1～3回あった。	
	ある	施設内のレク活動中、【大声で騒ぐ・勝手にその場を離れてしまう 等】ため、個別対応することが、この1か月では週 回あった。	

項目	チェック	特記事項文例	個別の状況を追記してください。
5-5 買い物	介助されていない	本人が宅配サービスの注文をしている。	
		週3回本人が買い、週1回重い物等を介助者が買う。頻度で「介助されていない」選択。	
	見守り等	家族からメモをもらい、本人が買い物をする。	
		本人は【認知症で同じ物を買ってしまう為 等】介助者が買う物の指示をし、本人が陳列棚の品物を取り、支払いをしている。	
		適切介助：【独居の為 等】本人が買い物をするが、【同じ物ばかり買ってしまう・必要ない物を買ってしまう為 等】買う物の指示をする介助が適切。	
	一部介助	本人が買う物を依頼し、介助者に買って来てもらう。	
		介助者と買い物に行き、本人が商品を選び、介助者が【棚から商品を取る・支払い】をする。	
	全介助	食材・日用品は介助者が見繕って買う。	
		【施設・病院】入所（院）中の為、食材・日用品は施設、家族が買う。	
週1回は本人が買い物をするが、週3回は介助者が見繕って買ってくる。頻回で「全介助」を選択。			
5-6 簡単な調理	介助されていない	炊飯は発生しておらず、レンジでご飯、惣菜の温めを本人が行っている。	
		炊飯は毎日1回介助者が行う。本人は1日3回レンジで温めをしており、頻度で「介助されていない」選択。	
		経管栄養で流動食を常温で注入している。	
	見守り等	本人が炊飯・温めを行うそばで、介助者が【指示・確認・声掛け】をしている。	
	一部介助	炊飯は本人が米をとぎ、水加減が分からないので介助者が水を入れて、スイッチを押す。	
		本人がレンジで温めをするが、物を運べないので介助者が食品を入れ、取り出しを行う。	
	全介助	炊飯・温めは介助者が行う。	
炊飯を毎日1回介助者が行っている。本人は週 回くらいレンジで温めを行う。頻度で「全介助」選択。			
経管栄養（胃ろう含）で、介助者が流動食を温めて注入している。			